

くろがたいは

●松江赤十字病院広報誌

病院理念

松江赤十字病院は、地域の中核医療機関として、「高度」「良質」「公正」な医療を提供します。

「あらあ、可愛い」
さわやかな晴天に恵まれた6月4日、全日空からの素敵なプレゼント「すずらん」が当院を笑顔で包み込みました。
全日空は社会貢献活動の一環として、昭和31年より全国の赤十字施設ですずらん贈呈行事をされています。これは、当時の日本赤十字社名誉副総裁・高松宮様が日赤中央病院（現在の日赤医療センター）に入院中の方々の慰問に際して提案



一人ひとりにやさしく「早く良くなってください」と声をかけて、すずらんを会場に贈呈式を行い、その後入院患者さまのベッドサイドへ。

今年素敵な制服姿の客室乗務員の方々が、すずらんの花を3鉢と450枚のしおりを持って当院まで直接手渡しに来ていただきました。高層棟12階病棟のサテライトキ

「すずらん」に願いを込めて

され、全日空のご厚意で始まったもの。以来、全日空が就航している空港に近い病院に対して毎年贈呈されており、今年で55年目を迎えます。平成15年からは、すずらんの花を永く楽しんでほしいという願いから、北海道から空輸されたすずらんを全日空グループの方々が一枚一枚手作りで押し花しおりにして贈ってくださっています。



すずらんのしおりが手渡されます。突然の訪問に戸惑われた表情が、すずらんのしおりを見た瞬間に笑顔に変わっていきます。「うちの家にもあって」と愛おしそうに眺める人、「まあ可愛い」と言ってお寝ている患者さまに見せるご家族。笑顔が笑顔を呼んでいきました。
今回来ていただいた客室乗務員の土江さんは出雲（大社）出身だそう、「直接手渡してみなさんを元気づけられうれしかったです」と感想を話し、病院を後にされました。
すずらんの花言葉は「しあわせ」。願う気持ちがかもった、心温まる贈り物でした。

第33号（2010年夏号）



松江赤十字病院 『患者さまの権利章典』

「医療は、患者さまと医療提供者とのお互いの信頼関係をもとに協力して作り上げていくものであり、患者さまに主体的に参加していただくことが必要です。」

このような考え方にもとづき、松江赤十字病院は、患者さまの権利や責務についてつぎのとおり表明します。

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 患者さまには、診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 患者さまには、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて十分理解できるまで質問する権利があります。
4. 患者さまには、医療従事者が提案する治療法に対して自らの意思で決定できる権利があります。
5. 患者さまには、診療の過程で得られた個人情報秘密が守られる権利があります。
6. 患者さまには、医療提供者に対し患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
7. 患者さまには、病院の規則を守る責務があります。

病棟紹介 十一階病棟

皆さま、こんにちは。私達十一階病棟をご紹介します。

私達の働く十一階病棟は、この病院の中で一番広いフロアーを誇っています。一般病室、個室の数が最も多く、又、特別個室も設置されており、三月一日の開業前の内覧会の時、見学者の方々が一度で良いからこの部屋に入院してみたいと言われました。

私達スタッフは、この広いフロアーをまるで運動会をしているかのよう、急ぎ足で飛び廻り、患者さまの対応にあたっています。当病棟は整形外科、眼科の専門病棟です。整形外科の患者さまは、若い方から高齢者まで幅広く、昼夜問わず交通事故による骨折、頸椎・脊髄損傷、転落などによる骨折、病的骨折等々、多種多様です。その為に緊急入院、緊急手術は毎日(土日を含め)あります。

眼科の患者さまは高齢者が多く、白内障の手術を中心に現在行っていますが、七月からは新部長を迎え、手



術内容、手術件数が拡大します。その中で、スタッフは眼科外来への応援も行なっています。そして個室が多い為、他科の入院も多く、頑張っています。

このような状況の中で、私達は常に患者さまへ質の高い医療、看護を提供する為に勉強会を行なっています。又、高齢者、認知症の患者さまも多く、安全、安楽にも細心の注意を払いながら、看護にあたっています。私達十一階病棟のビジョンは「切れ目のない確実な医療、看護の提供」です。そして目標は、「病棟が一つになって、コミュニケーションを図り、安全、安楽な看護の提供が出来る」です。入院していただいた患者さまがホッとされ、笑顔で入院生活を送っていただき、この次も、私達十一階病棟に入院したいと言っていただけるように、スタッフ全員で頑張りたいと思っています。



×線フィルムがなくなっただ？

患者さまにとって、病院でのストレスの原因のひとつに「待ち時間の長さ」があります。診察までの待ち時間、検査の待ち時間など。電子カルテ導入で予約制がとられるようになって、ずいぶん改善したはずなのですが、待ち時間に対する患者さまの不安と焦燥は、完全に解消されてはいませんでした。この度、新病院部分開業（高層棟竣工による）に際して、当院ではX線フィルムを無くすフィルムレス化を図りました。「待たない、待たせない、待たない」を合言葉に、放射線科で受付されて終了までの一切の無駄をなくすシステムを導入しました。患者さまが放射線科の受付を済ませられた瞬間に、CTやMRや透視室などあらゆる部署に患者さまの到来が告げられ、撮影など検査を終え、着替えられて検査室を出たところには、外来や病棟の主治医に画像データが配信されると云うスピーディーなシステムであります。したがって、患者さま自身がX線フィルムの出るまで待合室で待つことも、大きく重たいX線フィルムを持ち歩くことも必要なくなりました。つまり、検査が終わればただちに、**手ぶらで**次の部門に移動していただけるシステムです。このシステムは、放射線科ばかりでなく、胃カメラや大腸ファイバーなど内視鏡室や、心臓や腹部など超音波検査室や、心電図や筋

放射線科技師長 益井 謙



にもつながります。なにより、患者さまの情報が**即刻院内に配信される**こと云うことで、診察室や手術室や相談室での協議が円滑におこなわれるメリットがあります。また、院外に向けては、開業医の先生方へ逆紹介する時に、X線フィルムではなくてポケットサイズのCD一枚でお渡しができます。セカンドオペションへの画像紹介状としても大量情報が入り込めるCDはとても便利です。真新しい高層棟の一階と地下にある放射線科は、CT、MR、血管撮影、心臓カテーテル、R、X線TVなど、高度高性能医療機器をほとんど刷新しました。今後も患者さまへ質の高い画像診断、治療を提供し、主治医との連携を緊密濃厚にして、ますます患者サービス向上を目指していきたいと思っています。



6~7月 introduce

採用医師紹介



Hello Doctors



小児科 小池 大輔

6月より小児科採用となりました、小池大輔と申します。子供達と御両親の笑顔のために頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



小児科 内田 由里

7月に出雲市から赴任してきました。新生児・小児領域で地域のみなさまの支援をお手伝いできたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



眼科 北川 清隆

6月末まで、富山大学眼科で准教授として眼科診療、研究や学生教育に携ってまいりました。これからは、松江日赤で、大学で経験したことをもとに、最新の機器、技術を駆使して、重篤な眼科疾患にも対応できる眼科をめざしたいと思います。



● 雲南病院との勉強会で「もっとクロス」



● 鹿島病院との勉強会で「もっとクロス」



● 地域の看護師のみなさまとのAED勉強会で「もっとクロス」



● 地域の医療従事者のみなさまとのがんフォーラムで「もっとクロス」



当院は地域医療支援病院として、地域の病院や診療所、介護施設などのみなさまと勉強会を開催しています。勉強会をすることで、お互いにスキルアップを図るとともに、連携を深めることができます。今後も地域と「もっとクロス」して、良質な医療の提供を目指します。



夜空に浮かぶ赤十字 立体駐車場エレベーター紹介

当院の立体駐車場にエレベーターを設置しました。今までは階段しかなく、長年みなさまにはご不便とご迷惑をおかけしていました。エレベーターの外壁に取りつけた赤十字マークと駐車場のPマークには、今話題のLED (Light Emitting Diode: 発光ダイオード) を使用しており、夜になると輝きを放っています。

夜空に浮かぶ赤十字、ぜひご覧ください。

写真で見る「外来糖尿病教室」

当院で開催している外来糖尿病教室、毎回大盛況です。教室では、医師や看護師、管理栄養士がお話をしたり、簡単なストレッチ方法などをご紹介します。また、すこやか会のみなさまによる体験談もあり、とても参考になります。参加者のみなさまに好評なのが食事会。カロリー計算をしてもおいしく召し上がっていただけるように工夫しています。ぜひ一度ご参加ください。



●糖尿病・内分泌内科医師が糖尿病にまつわるいろいろなお話をしています



●食事会はバイキング形式です



●ごはんはご自分の量をはかって盛りつけていただきます



●みなさんが楽しみながら学んでいただける教室です

8~11月の日程 外来糖尿病教室 ※予約制 糖尿病手帳をお持ちの方はご持参下さい

9月22日(水) 時間：10:00~13:30
場所：厚生棟会議室

合併症を防ぐために

食事会 身体をいたわる 減塩メニュー

糖尿病性腎症 徹底研究

……………糖尿病・内分泌内科部長 佐藤 利昭

食事療法のコツ④ タンパク質の摂り過ぎは良くない?
……………管理栄養士(糖尿病療養指導士) 安原みずほ

透析センターってこんなところ

……………透析センター看護師長 中島 富江

体験談「マイペースで頑張ってます」

……………すこやか会会員 石田 英尚

11月24日(水) 時間：10:00~13:30
場所：厚生棟会議室

糖尿病と他の病気との関連をさぐる

食事会 心もほっこり 冬メニュー

がんと糖尿病 ……糖尿病・内分泌内科副部長 垣羽 寿昭

食事療法のコツ④ お酒とお菓子の甘い誘惑
……………管理栄養士(糖尿病療養指導士) 引野 義之

だれにでもできる簡単ストレッチ Part.2

……………病棟看護師(糖尿病療養指導士)

体験談「優等生にはなれないけれど」

……………すこやか会会員 岩本 悦子

申し込み及び問い合わせ先 ▶ 松江赤十字病院 糖尿病・内分泌内科 生活指導室(担当保健師 吉岡) 電話：0852-24-2111

数字で見る「健康医学講座」

当院で毎年開催している健康医学講座、いろいろなテーマを取りあげています。毎回マーブルテレビでも放映されており、好評です。

8~11月の日程 健康医学講座 ※予約制

場 所：松江赤十字病院 厚生棟会議室
(病院向かい「松江薬局」となり)

受講料：無料

8月25日(水) 時間：14:00~15:30

「がん」ってなに?~癌の基礎知識~

……………呼吸器外科部長 磯和 理貴

9月29日(水) 時間：14:00~15:30

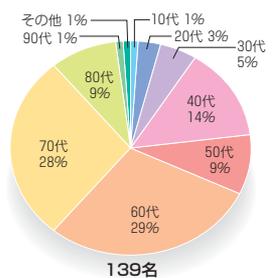
安静の落とし穴~廃用症候群について~

……………リハビリテーション科部長 笠木 重人

■ 昨年の開催実績

開催月	テーマ	参加者数
5月	ピロリ菌の関与した病気の除菌治療	25名
6月	メタボリックシンドロームと心臓病	23名
7月	蓄膿症の内視鏡手術について	11名
8月	喫煙は病気・禁煙は治療	20名
9月	「快適な排尿」のために	27名
10月	乳がんと乳腺の病気	17名
11月	歯と口の健康づくり	16名

■ 年代別参加者数



10月27日(水) 時間：14:00~15:30

診断学入門~医師はどのようにして診断しているのか~

……………総合診療科部長 大居 慎治

11月18日(木) 時間：14:00~15:30

抗がん剤治療の副作用に負けないために~患者さんとご家族へのアドバイス~

……………乳腺外科副部長 曳野 肇

申し込み先 ▶ 松江赤十字病院 医療社会事業部 電話：0852-24-2111(代)

料理の世界 空飛ぶ魚「トビウオ」

栄養調理師 奥野 将徳

大きな胸びれを広げ水面をグライダーのように飛ぶ姿が「トビウオ」の名前の由来。これは主にマグロやシイラなどの敵から逃げるためだといわれ、滑空時の高さは3m、1回の飛行距離は300mにおよびます。



イなどに向いています。新鮮なもの刺身が美味。またトビウオの卵は「トビッコ」と呼ばれ珍味や寿司ネタとして用いられています。加工品としては新島、八丈島の「くさや」が有名ですが島根県ではトビウオを原料とした竹輪が有名で、「アゴ野焼き」と呼ばれ親しまれています。また、島根県の魚にも指定されています。他地方ではうどんやラーメンのだしにも使われ評判になっています。

各家庭でも干物を作ってみたり淡泊な味にひと工夫、雄大に空を飛ぶ姿を思い浮かべながらいろいろな料理を作ってみてはいかがでしょうか。

